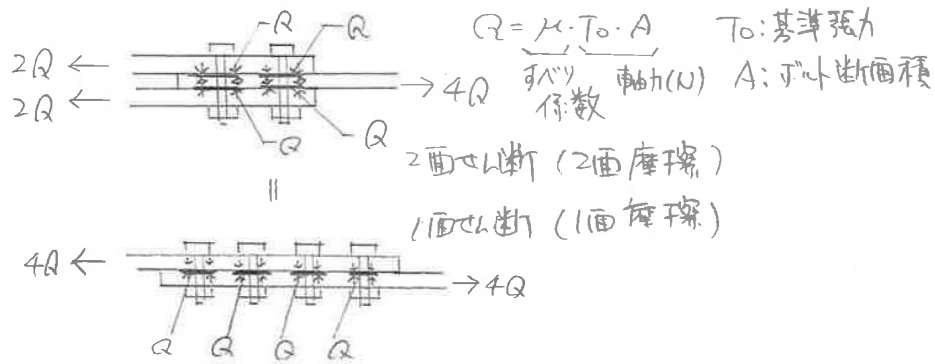


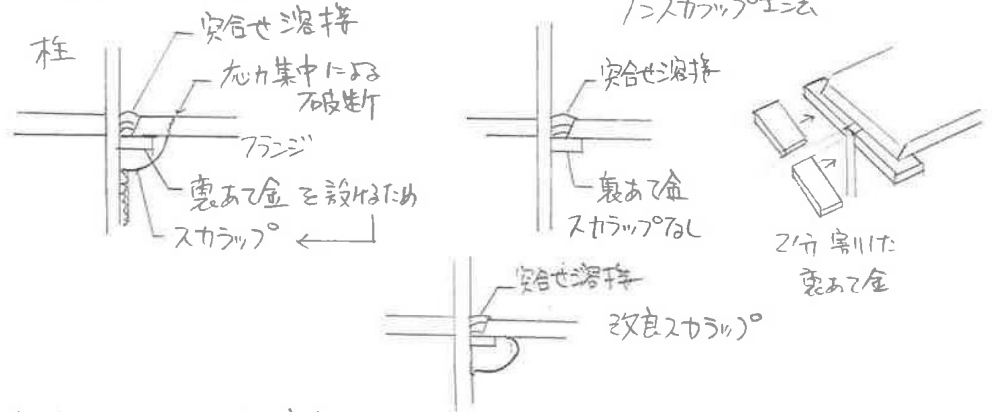
平成26年 No.16 鉄骨構造の接合部

1. 高力ボルト本数・摩擦面数と許容せん断力 → 2面摩擦接合2本締めと1面摩擦4本締めとは同等の許容せん断力と見る
2. ノースカリップ工法 → スカリップに起因する梁フランジの破断を防止し、変形性能の向上に有効
3. 柱梁接合部 → 梁フランジは突合せ溶接、ウェブは隅肉溶接とする
4. 隅肉溶接継目の短期許容応力度 → 接合される鋼材の溶接部の基準強度下の $\frac{1}{\sqrt{3}}$ とする

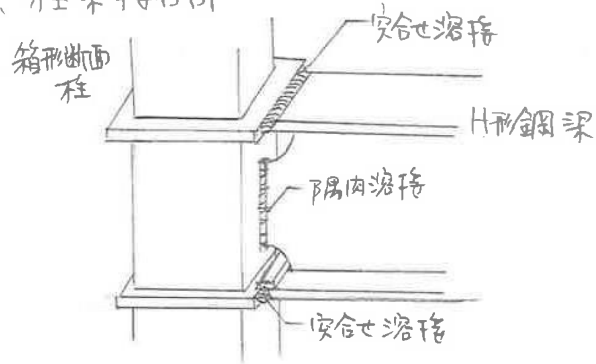
1. 高力ボルト本数・摩擦面数と許容せん断力



2. ノースカリップ工法



3. 柱梁接合部



4. 隅肉溶接継目の短期許容応力度

